



食べられる!? 金鉱脈

鉱脈とは何かご存じでしょうか。

岩石の割れ目を埋める板のような形のもの、金鉱脈といいますが、金鉱脈から取り出された石を金鉱石といいますが。金鉱石に金が含まれている場合は、金鉱石と呼びます。佐渡金山の第5駐車場からは、佐渡最大と言われた金鉱脈跡である青盤脈の崖を見ることができ、総延長約2kmにもなる青盤脈は大きすぎるため、空から見なければ全体を把握することができません。そこで、誰でも手軽に見られる「プチ金鉱脈」をご紹介します。

佐渡金山の第5駐車場付近にある岩石の中に、白い線が入った岩がいくつか見られます。これが「プチ金鉱脈」です。岩石のすき間を埋めるように白い線が入っており、白い線が巨大になったものが青盤脈で、総延長約2km、深さ約500m、脈幅が6mあったとされています。

なかなか想像することが難しいので、プチ金鉱脈をたまごサンドに例えて思い浮かべてください。周りの岩石がパン、白い線の部分がたまごです。つまり、サンドイッチの断面を見ている状態です。この白い線は岩石の表面だけにあるのではなく、

具であるたまごがパン全体に塗られているように、奥まで続いています。

第5駐車場で見られる青盤脈は、具である金鉱石がすでに掘り尽くされ、パンのみが残されている状態です。昔、金を掘っていた人々は、おいしい部分をごちそうなのか、分かっていたのかもしれませんが。



佐渡金山の第5駐車場付近にあるプチ金鉱脈

問 教育委員会社会教育課

ジオパーク推進室

(畑野行政サービスセンター内)

☎ 66-4160

トキ野生復帰にむけて 167

親子トキモニタリング体験会が開催されました

8月17日、環境省佐渡自然保護官事務所主催の親子トキモニタリング体験会が開催され、親子5組、12人が参加しました。

参加した皆さんは、環境省と新潟大学のモニタリングチームスタッフからトキの見分け方や双眼鏡などの使い方の説明を受けたあと、田んぼに設置されたトキの模型を使って観察の練習を行い、トキが観察できる地点を廻って野生のトキを観察しました。

また、有機栽培の田んぼでトキがエサにしている水辺の生きものを捕まえ、新潟大学の先生から捕まえた生き物の名前や見分け方の解説をしていただきました。

暑い日差しの中の活動でしたが、移動中にトキを見つけたり、田んぼで生きものを捕まえたりした時には、子どもたちはとてもうれしそうにはしゃいでいました。

問 産業観光部農業政策課

トキ保護係(トキ交流会館内) ☎ 24-6040



説明を受ける参加者



田んぼでの生き物探し